



Hewlett Packard
Enterprise

Red Hat Enterprise Linux 8.6

Service Pack for ProLiant 2022.03.0 Gen10/Gen10 Plus サプリメントリリースノート

2022年6月

法律および通知情報

© Copyright 2015-2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ドキュメント履歴:

| リリース日 | 説明 |
|---------|-----|
| 2022年6月 | 最終版 |

目次

| | |
|--|----|
| 概要..... | 7 |
| アップデートの推奨事項..... | 7 |
| 整合性..... | 7 |
| 変更の概要..... | 7 |
| 重要な注意..... | 7 |
| リリースの概要..... | 8 |
| 前提条件..... | 8 |
| Linux上でのSUMの実行..... | 8 |
| 展開の手順..... | 9 |
| コンポーネントのリリースノート..... | 9 |
| コンテンツレポート..... | 10 |
| RHEL8.6 Supplement for Gen10/Gen10 Plus SPPのコンテンツ..... | 10 |

概要

Service Pack for ProLiant (SPP) サプリメントはソフトウェアバンドルです。これは、SPPには含まれないもののSPPのコンポーネントで機能する、新しいオペレーティングシステムのアップデートのサポートが含まれることがあります。サプリメントは、HPEがサポートを提供できるように通常のSPPのリリースサイクル外で必要とされる機能のサポートを提供するため、お客様はSPPが完全に利用可能になるのを待つ必要がありません。

各SPPサプリメントのバージョン番号は、対応するSPPのバージョンと一致しています。サプリメントのリリースノートが提供され、バンドル内のコンポーネントに関する情報が記載されます。サプリメントのコンテンツがLinuxコンポーネントを含む場合、コンポーネントはLinux Software Delivery Repository (SDR)でも利用可能です。

いったんリリースされたら、SPPサプリメントのコンテンツの機能が次の利用可能なSPPに含まれます。

2022.03.0以降、追加のGen10製品のサプリメントSPPリリースがあります。

SPPに関連付けられたホットフィックスは、SPPサプリメントでも動作します。ホットフィックスが、サプリメントでサポートされているオペレーティングシステムをサポートしているかどうかを確認してください。SPPホットフィックスの詳細については、[SPP情報ライブラリページ](#)にあるSPPのリリースノートを参照してください。

これは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.6 Supplement for Gen10/Gen10 Plus Service Pack for ProLiant 2022.03.0です。

RHEL 8.6でサポートされるサーバーについて詳しくは、OSサポートサイト (<https://www.hpe.com/servers/ossupport>)を参照してください。

| 製品名 | コメント |
|---|--|
| RHEL8.6 Supplement for Gen10/Gen10 Plus SPP バージョン2022.03.0 | ソフトウェアコンポーネントを含むバンドル ファイル名: gen10supssp-2022.03.rhel8.6.en.tar.gz |

アップデートの推奨事項

オプション - ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

整合性

Gen10/Gen10 Plus Service Pack for ProLiant 2022.03.0

変更の概要

重要な注意

この文章全体で使用されているサプリメント、Service Pack for ProLiantまたはSPPの用語は、明示的に述べない限り、概要セクションの表の配布物のすべてを示しています。

⚠ 任意のコンポーネントをシステムにインストールする前に、インストール手順で問題が発生した場合にシステムの最新のバックアップが利用できることを確認してください。

リリースの概要

このRed Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.6 Supplement for Service Pack for ProLiant Gen10/Gen10 Plusリリースの概要は以下のとおりです。

Red Hat Enterprise Linux 8.6のサポートを追加しました。

このサプリメントは、RHEL 8.6がインストール済みの場合にのみインストールする必要があります。

このService Pack for ProLiant (SPP)で提供されるすべてのコンポーネントは、一緒にテストされ、Service Pack for ProLiant内の他のコンポーネントの依存関係を満たしています。

以下の製品に同梱されているソフトウェアとファームウェアコンポーネントを使用しているシステムは、簡単にこのサプリメントのコンポーネントに移行することができますようになります。

| 製品 | バージョン |
|---------------------------|-----------|
| Service Pack for ProLiant | 2022.03.0 |
| | 2021.10.0 |

注記: systemdメッセージコンソールに"thawing (解凍中)"状態と表示される場合があります。これは、特にサービスの再起動またはリロードの後、systemdでデフォルト値が正しく設定されないためです。

前提条件

Linux上でのSUMの実行

⚠インストール処理に失敗したときのために、ターゲットシステムにソフトウェアアップデートをインストールする前に、ターゲットシステムの最新のバックアップがとられていることを確認してください。

LinuxオペレーティングシステムのリモートターゲットシステムでSUMを正常に展開するには、以下が利用可能であることが必要です。

- libcrypt.so
- libcrypt.so.1
- /usr/lib/libqldsdm.so
- /usr/lib64/libqldsdm-x86_64.so
- /lib/cim/libqldsdm.so
- /usr/lib/libemsdm.so
- /usr/lib64/libemsdm.so
- /lib/cim/libemsdm.so
- /usr/lib/bfahbaapi.so
- /usr/lib64/bfahbaapi.so
- /lib/cim/bfahbaapi.so
- linux-vdso.so.1
- /lib64/libcrypt.so.1
- /lib64/libpthread.so.0
- /lib64/libz.so.1
- /lib64/libdl.so.2
- /lib64/librt.so.1

- /usr/lib64/libstdc++.so.6
- /lib64/libm.so.6
- /lib64/libgcc_s.so.1
- /lib64/libc.so.6
- /lib64/ld-linux-x86-64.so.2

展開の手順

このサプリメントは、オペレーティングシステムのインストール後に使用するよう設計されています。これにより、ドライバーのアップデートと、HPEユーティリティ(ヘルスやiLOドライバーなど)のインストールが可能になります。

サポートされているLinuxオペレーティングシステム上でSPPサプリメントおよびそれに対応するSPPを使用することにより、標準のLinuxインストールツール(YUM/Zypper)またはHPE管理ツール(SUM/OneView)のいずれかを選択して以下のことを実行できます。

- サプリメントおよびSPPで提供されているソフトウェアおよびファームウェアをそれぞれ使用します。
- SPPで提供されているファームウェアを使用し、Software Delivery Repository <https://downloads.linux.hpe.com/SDR>からソフトウェアを入手します。
- SPPで提供されるファームウェアおよびソフトウェアユーティリティと、オペレーティングシステムのディストリビューションから入手可能なドライバーを使用します。

展開中に、SPP 2022.03.0からSUMを起動し、ベースラインとして8.6サプリメントを追加します。コンポーネントは、SUMカスタムベースラインを使用して単一のISOに結合することも、個別のパッケージとして適用することもできます。コンポーネントは、SUMカスタムベースラインを使用して単一のISOに結合することも、個別のパッケージとして適用することもできます。

注記: Gen10 iLO 5 LinuxおよびiLO 5ノードのみ-iLOレポジトリを管理するには、[iLOレポジトリオプション]タブを選択します。(SUMをGUIモードで実行する場合)。

選択したコンポーネントをiLOレポジトリにアップロードし、インストールセットを作成するには、[コンポーネントをインストールセットとしてiLOレポジトリに保存]を選択します。SUMによって自動的に名前と説明が作成されますが、インストールセットの名前と説明を編集することができます。このインストールセットを使用して、今後、サーバーコンポーネントをロールバックできます。名前と説明は63文字に制限されており、使用できる特殊文字は-と_だけです。

コンポーネントのリリースノート

RHEL8.6 Supplement for Gen10/Gen10 Plus SPP v2022.03.0のリリースノート

[ソフトウェア - Lights-Out管理](#)

[ソフトウェア - システム管理](#)

ソフトウェア - Lights-Out管理

[先頭](#)

HPE Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.7.0-0 (オプション)

ファイル名: hponcfg-5.7.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.7.0-0.x86_64.rpm

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアバージョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.20以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。

opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

機能強化

Red Hat Enterprise Linux 9 Server OSのサポートを開始しました。

ソフトウェア - システムマネジメント

[先頭](#)

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.6.0-1701.1.rhel8.x86_64.compsig; amsd-2.6.0-1701.1.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

修正

以下を修正しました。

- OSレベルとAHS間でOS論理ディスク使用率の差異が大きいとユーザーに表示される場合があります。この修正によって、OSレベルとAHS間の差異がわずかになるように結果が改善されました。
- NICポートリンクのステータスが[不明]から[OK]に変更されると、正しいNICポートのステータスまたはIMLの記録がユーザーに表示されない場合があります。リンクポートのステータスが変更されたことがiLO/IMLで記録されるようにSNMPトラップがアップデートされました。

機能強化

次の拡張機能を利用できます。

- OSes AMS NICポートのステータスの相互作用に合わせます。AMSの起動時にリンクが見つからなかった場合は、NICポートリンクのステータスが[不明]としてマークされます。

Linux 64-bit用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 007.1616.0000.0000 (B) (オプション)

ファイル名: storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.compsig; storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.rpm

機能強化

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました

コンテンツレポート

RHEL8.6 Supplement for Gen10/Gen10 Plus SPPのコンテンツ

次の表は、このRHEL8.5 Supplement for Gen10/Gen10 Plus SPPのすべてのソフトウェアとファームウェアの一覧です。

この成果物について詳しくは、www.hpe.com/servers/spp/downloadを参照してください。

| 製品カテゴリ | コンポーネントタイトル | バージョン | リリース日 | ファイル名 |
|--------|-------------|-------|-------|-------|
|--------|-------------|-------|-------|-------|

| | | | | |
|----------------------------|---|------------|------------|--|
| アプリケーション - システムマネジメント | Integrated Smart Update Tools for Linux x64 | 2.9.0.0 | 2021年3月8日 | sut-2.9.0-53.linux.x86_64.rpm |
| ドライバー - ストレージコントローラー | HPE ProLiant Gen10およびGen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット) | 2.1.14-036 | 2021年12月9日 | kmod-smartpqi-2.1.14-036.rhel8u4.x86_64.rpm kmod-smartpqi-2.1.14-036.rhel8u5.x86_64.rpm |
| ソフトウェア - Lights-Out マネジメント | HPE Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T) | 5.6.0-0 | 2020年6月27日 | hponcfg-5.6.0-0.x86_64.rpm |
| ソフトウェア - システムマネジメント | HPE System Management Homepage for Linux (AMD64/EM64T) | 7.6.7-1 | 2021年5月8日 | hpsmh-7.6.7-1.x86_64.rpm |
| ソフトウェア - システムマネジメント | HPE System Management Homepageテンプレート for Linux | 10.8.1 | 2019年2月15日 | hp-smh-templates-10.8.1-1487.3.noarch.rpm |
| ソフトウェア - システムマネジメント | HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 8 Server | 2.10.4 | 2021年5月21日 | hp-ams-2.10.4-885.5.rhel8.x86_64.rpm |
| ソフトウェア - システムマネジメント | Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server | 2.5.0 | 2021年2月8日 | amsd-2.5.0-1675.24.rhel8.x86_64.rpm |
| ソフトウェア - システムマネジメント | HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 8 Server | 10.9.3 | 2021年4月10日 | hp-health-10.93-307.4.rhel8.x86_64.rpm |

この表には8個の項目があります。